

AMED

クリニカル・イノベーション・ネットワーク 推進支援事業公開シンポジウム

クリニカル・イノベーション・ネットワーク(CIN)は、疾患登録システム(患者レジストリ)を臨床開発に利活用することで、国内臨床開発を活性化させることを目指し、そのための環境整備を産官学で行う厚生労働省主導のプロジェクトです。日本医療研究開発機構(AMED)においても、CIN推進支援事業等によりCIN推進のための必要な支援を行っており、本シンポジウムでは、本事業を取り巻くCINの背景から現状の取組み、今後の展望について幅広く周知・共有することで、本事業及びCINのさらなる推進に繋げることを目指します。

平成30年 **7月12日(木)**
13:00～17:45 (開場予定12:30)

星陵会館ホール (東京都千代田区)

定員 300名 (参加費無料)

事前登録制：定員になり次第受付締め切り
お申込み方法は裏面をご確認ください。

主催 日本医療研究開発機構 臨床研究・治験基盤事業部
臨床研究課(厚生労働省補助)

後援 医薬品医療機器総合機構/日本製薬工業協会/
日本医療機器産業連合会

プログラム

13:00	開会挨拶	末松 誠(日本医療研究開発機構 理事長) 森光 敬子(厚生労働省 医政局 研究開発振興課 課長)
13:10	第1部 CIN推進支援事業を取り巻くCIN構想について 座長：藤原 康弘(CIN推進支援事業プログラムオフィサー/国立がん研究センター 執行役員 企画戦略局 局長)	
	1-1「CIN構想におけるこれまでの取組みと今後の方針」	金津 佳子(厚生労働省 医政局 研究開発振興課 臨床研究推進指導官)
	1-2「クリニカルイノベーションネットワークの目指すもの 疾患登録システムとその利活用を踏まえて」	武田 伸一(国立精神・神経医療研究センター 理事)
	1-3「PMDAにおけるCINへの取組み ～とくに製造販売後の調査について～」	中村 悟(医薬品医療機器総合機構 信頼性保証部 調査役)
	1-4「医薬品産業界の立場よりCINに期待すること」	宮本 恵司(日本製薬工業協会/第一三共株式会社 研究開発本部 開発薬事部)
	1-5「医療機器産業界の立場よりCINに期待すること」	久芳 明(日本医療機器産業連合会 常任理事/株式会社日立製作所)
14:45	休憩	
14:55	第2部 AMED支援CIN関連課題の概要紹介 座長：佐藤 典宏(CIN推進支援事業プログラムオフィサー/北海道大学病院 臨床研究開発センター センター長)	
	2-1「患者レジストリーデータ活用のための研究デザイン・解析方法、及びデータの信頼性担保方法に関する検討状況」	柴田 大朗(国立がん研究センター 研究支援センター 生物統計部長)
	2-2「筋萎縮性側索硬化症患者のレジストリ構築：創薬促進に向けて」	祖父江 元(名古屋大学大学院 医学系研究科 特任教授)
	2-3「難病、希少疾患の医薬品開発におけるクリニカルイノベーションネットワーク構想の推進を目指した疾患登録システム(患者レジストリ)の構築」	中村 治雅(国立精神・神経医療研究センター トランスレーショナル・メディカルセンター 臨床研究支援部 臨床研究支援室 室長/病院臨床研究推進部 臨床研究・治験推進室 室長)
	2-4「産学連携全国がんゲノムスクリーニング(SCRUM-Japan)を利用したがん新薬開発に資する疾患登録システムの構築」	大津 敦(国立がん研究センター東病院 院長)
	2-5「CIN構想の加速・推進を目指したレジストリ情報統合拠点の構築」	國土 典宏(国立国際医療研究センター 理事長)
16:25	休憩	
16:40	第3部 パネルディスカッション 座長：中西 洋一(CIN推進支援事業プログラムスーパーバイザー/九州大学 ARO次世代医療センター センター長) パネリスト：金津 佳子、武田 伸一、中村 悟、宮本 恵司、久芳 明、國土 典宏、米盛 勸 話題提供：「MASTER KEYプロジェクトについて」	米盛 勸(国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科 医長)



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development